令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　117

事務事業名称		取替用私設水道メーター貸与事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部	課:　上下水道財務課			区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1995(H7)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	計量法・枚方市水道事業給水条例施行規程・共用給水建物の協定締結者へのメーター貸与基準						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新を図っていくこと。						
	対象者(受益者)	集合住宅等(市が検針している私設水道メーターが設置されている場合に限る)の所有者(個人、管理組合、管理会社等)/						
	現状・課題	各戸における水道メーターは計量法に基づき8年ごとの取替が必要となり、水道料金の各戸検針・各戸徴収の協定を締結している集合住宅の私設メーターにおいては、取替の推進を図る必要がある。 計量法の規定による集合住宅等の私設水道メーターの取替えは当該メーターの所有者に委ねられていることから、市水道メーター利用者との公費負担の公平性確保を図る必要がある。						
	事業の概要	R5年度から私設水道メーターの取替に対し、市がメーターを貸与する制度を開始する。 直読式メーターのみ貸与の対象とし、遠隔指示式メーターは直読式に変更することで貸与の対象とする。 貸与メーター設置着手の申請について、申請内容の審査、メーターの貸与を行い、取替後の確認を行う。						
	年間の主な事務	①貸与メーター設置着手届の受付 ②申請内容の審査→貸与メーター引換書の送付 ③貸与メーター引渡書と貸与メーターの引換 ④貸与メーター設置完了報告書→初回検針時に支障がないことを確認						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.70人	1.80人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	13,070	14,776	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	13,070	14,776	—	—		
歳出 物件費計	5,395	8,624	—	—	14,901	57.9%
歳出計	18,465	23,400	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	5,395	8,624	—	—	14,901	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 貸与メーター設置着手の申請を受理する。	個	1,598 個	1,748 個	— 個	— 個

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 受理した申請に対し、内容確認のうえ、水道メーターを貸与する。

指標: 申請個数に対しメーターを貸与した割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	100	—	—	%

算出方法: 申請個数／貸与した個数×100

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新がなされる。

指標: 集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に私設メーターを更新される割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	80	80	80	%
実績	81.6	74.6	—	—	%

算出方法: 期限内に更新された私設メーターの件数／本市が検針している私設メーターの件数×100

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

検定満期の1年前に有効期間満了までに取り替えるよう案内を送付しているが、私設メーターの取り替えについては、所有者に委ねられているいる現状があるため、引き続き有効期限満了までに取り替えを促していく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	私設メーターの取替事業にあたっては、所有者に対して事前に取替え案内を実施しているが、取替作業に関しては所有者に委ねられているが、受理した申請に対しては、100%貸与しており、検定満期までの取替についても、目標値を上回った。
R7年度	私設メーターの取替事業にあたっては、所有者に対して事前に取替え案内を実施しているが、取替作業に関しては所有者に委ねられている。受理した申請に対しては、100%貸与しているが、検定満期までの取替については、目標値を下回った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	検定満期の1年前に有効期限満了までに取り替えるように案内を送付し、取り替えを促している。また、検定満期経過分については、勧奨通知を送付している。引き続き有効期限満了までに取り替えるよう周知徹底していく。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　639

事務事業名称		水道検針業務、窓口・収納業務等委託管理事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部	課:　上下水道財務課		区分	義務的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	非選択的区分		
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	水道法　・　枚方市水道事業給水条例　・　下水道法　・　枚方市下水道条例　等						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	すべての使用者が滞納無く納付期限内に納付している状態。						
	対象者(受益者)	水道及び公共下水道の使用者						
	現状・課題	使用水量に応じた水道料金・下水道使用料を納付する必要がある。						
	事業の概要	水道使用者に対して、水道料金及び下水道使用料を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。						
	年間の主な事務	①水道使用申込(開栓)の受付 ②検針(使用水量確定) ③水道料金及び下水道使用料の算定(調定) ④水道料金及び下水道使用料の請求(口座振替・納付書送付) ⑤水道料金及び下水道使用料の徴収						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.08人	3.97人	—	—
再任用	1.00人	1.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	1.67人	0.96人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	21,318	37,890	—	—		
		会計年度任用職員	4,391	3,887	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		25,709	41,777	—	—		
	物件費計		380,934	384,274	—	—	440,776	87.2%
歳出計			406,643	426,051	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			380,934	384,274	—	—	440,776	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 滞納処分件数	件	1 件	1 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：滞納処分を行う

指標：滞納処分件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	5	5	5	件
実績	1	1	—	—	件
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：—

指標：—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	適正かつ効率的に債権の管理・回収を行うために、未納額や未納者の状況に応じて、料金の徴収サイクル（督促・催告・訪問徴収及び給水停止）を行った。また、委託業者と毎月ワーキングの実施し、情報を共有するなど、徴収率の向上に努めた。
R7年度	適正かつ効率的に債権の管理・回収を行うために、委託業者と毎月ワーキングの実施し、情報を共有するなど、徴収率の向上に努めた。具体的には、未納額や未納者の状況に応じて、料金の徴収サイクル（督促・催告・訪問徴収及び給水停止）を行った。また、下水道使用料について滞納処分を行ったが、水道料金については支払いがなされなかった者に対して、少額訴訟を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	今後も引き続き、枚方市債権管理及び改修に関する条例を踏まえ、適切な賦課・徴収を執行していく。また、委託業者による徴収サイクル（督促・催告・訪問徴収及び給水停止）にあわせ、債権回収課所属の弁護士と連携し、滞納処分等の法的措置を効果的に実施することにより徴収強化に取り組む。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　656

事務事業名称		下水道事業受益者負担金賦課徴収事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部	課:　上下水道財務課		区分	義務的事業		
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	非選択的区分		
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1966(S41)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	都市計画法　・　東部大阪都市計画下水道事業受益者負担に関する条例　等						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	すべての対象者が滞納無く納付期限内に納付している状態。						
	対象者(受益者)	公共下水道が整備される区域内の土地の所有者						
	現状・課題	公共下水道事業の整備に要した費用の一部を納付する必要がある。						
	事業の概要	公共下水道排水区域の土地所有者等に対して、受益者負担金を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。						
	年間の主な事務	①公共下水道排水区域の確認(現地調査含む。) ②受益者負担金賦課対象土地通知書(事前通知)の送付 ③受益者負担金に関する相談会の開催 ④受益者変更・賦課保留・減免に係る申請の受付け・審査 ⑤受益者負担金の算定(調定) ⑥受益者負担金の請求(納付書送付) ⑦受益者負担金の徴収						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.30人	1.40人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	9,994	11,493	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	9,994	11,493	—	—		
歳出 物件費計	864	650	—	—	864	75.2%
歳出計	10,858	12,143	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	2,943	4,036	—	—	2,476	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	2,943	4,036	—	—	2,476	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 下水道事業受益者負担金を賦課する。(供用開始区域内の賦課件数／供用開始区域内の土地所有者×100)	%	100 %	100 %	— %	— %

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	下水道事業受益者負担金を徴収する。
指標	受益者負担金徴収率(現年度分)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	99	99	99	99	%
実績	96.1	98.2	—	—	%
算出方法	現年度徴収額／現年度調定額×100				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	対象者全員に通知を行い、滞納者に対し委託業者と連携して徴収の取組を行ったが、受益者負担金の徴収率は、目標値には至らなかった。
R7年度	対象者全員に通知を行い、滞納者に対し委託業者と連携して徴収の取組を行ったが、受益者負担金の徴収率は、令和6年度より向上したものの、目標値には至らなかった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	今後も引き続き、債権管理の強化、効率的な徴収体制の構築、滞納の未然防止に取組み、受益者負担金の適正な賦課・徴収を行い、目標達成に向けて取り組んでいく。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　794

事務事業名称		上下水道局財政・会計事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　上下水道部		課：　上下水道財務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	・健全な経営基盤を確立するとともに、中長期の視点での財政マネジメントにより、持続可能な安定経営を維持できている。 ・公金について、適正な出納管理ができており、また、安全で確実な資金管理ができている。						
	対象者（受益者）	上下水道局の各部署						
	現状・課題	・将来にわたり、持続可能な安定経営を維持できるよう、さらなる経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図る必要がある。 ・公金について、適正に出納管理を行うとともに、安全で確実な資金管理を行う必要がある。						
	事業の概要	水道事業会計・下水道事業会計の健全な財政運営及び適正な出納事務等を行う。						
	年間の主な事務	財　政：経営戦略（平成30年度策定・令和5年度見直し）に基づく健全な財政運営。 予算編成および決算業務。 予算書および決算書の編集・発行。 会　計：収入・支出の確認および審査業務。 現金等の適正保管・記録管理。						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制 （人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	6.67人	5.58人	—	—
再任用	0.00人	0.80人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.80人	0.80人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 （千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	51,279	50,046	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	3,227	3,501	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	54,506	53,547	—	—		
歳出 物件費計	6,281	9,464	—	—	12,333	76.7%
歳出計	60,787	63,011	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）	6,281	9,464	—	—	12,333	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 【水道事業】 水道事業経営戦略等に基づく予算編成や執行管理を実施する。	回	1 回	1 回	— 回	— 回
② 【下水道事業】 下水道事業経営戦略等に基づく予算編成や執行管理を実施する。	回	1 回	1 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル アウトプット①

説明: 【水道事業】
当年度純利益が計画値と大きく乖離しない。

指標: 当年度純利益

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	511	679	588	403	百万円
実績	1,213	1,202	—	—	百万円

算出方法: 経営戦略における計画値

ロジックモデル アウトプット②

説明: 【下水道事業】
当年度純利益が計画値と大きく乖離しない。

指標: 当年度純利益

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	709	1,253	1,192	1,245	百万円
実績	1,499	1,505	—	—	百万円

算出方法: 経営戦略における計画値

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—

算出方法: —

アウトカム②

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	予算を効率的及び効果的に執行することにより、健全な財政運営を実施することができた。
R7年度	物価高騰や人件費の上昇による経営への影響はあったが、予算を効率的及び効果的に執行することにより、健全な財政運営を維持し、計画値を上回る純利益を計上することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	今後も健全な財政運営、適切な会計事務に取り組む。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　949

事務事業名称		上下水道財務課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道財務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2021(R3)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営が円滑に行われている						
	対象者(受益者)	上下水道財務課職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の運営業務						
	年間の主な事務	照会、回答事務、文書管理事務、物品購入事務等						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.00人	2.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	15,376	16,418	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	15,376	16,418	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計	15,376	16,418	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	適切な事務分担を行うことで、効率的な課の運営ができた。
R7年度	適切な事務分担を行うことで、効率的な課の運営ができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	今後も円滑的な課の運営ができるよう業務に取り組む。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―